

(5) 効果

生活改善に直接つながる農村地域の婦人の学習、ならびに社会教育施設の整備されている状況に深い感銘をうけた。婦人団体の組織も強固で実践活動のすすめ方も研修生に参考になることが多かった。

7. 婦人学級生大会

(1) 趣旨

県下の婦人学級の代表が一堂に会し、婦人学級の運営、学習活動、学習内容等の状況について発表・交歓を行ない当面する諸問題について研究する。

(2) 期日・会場

① 期日 昭和45年11月12・13日(2日間)

② 会場 会津若松市民会館

(3) 参加者

婦人学級生、婦人教育関係者 568名

(4) 内容

① 研究主題

「婦人の学習課題と婦人学級の運営」

② 研究部会

○第1・2分科会 家庭の生活設計に関する学習と消費生活に関する学習。

○第3・4分科会 市民生活に関する学習と団地における学習。

○第5分科会 生産職業に関する学習と職場、職域における学習

○第7・8分科会 芸術・文化に関する学習と商店街における学習。

③ 研究協議の方法

ア. 講演 「70年代の婦人」

イ. 事例発表 6学級

教育放送利用による家庭の生活設計学習

県北 霊山町中央婦人学級

働く婦人の学級

県中 須賀川市芸術文化婦人学級

芸術・文化に関する学習

県南 白河郷土文化婦人学級

団地における市民生活に関する学習

会津 会津若松市城前婦人学級

消費生活に関する学習

いわき 錦婦人学級

統計資料を活用した家庭生活設計学習。

相双 双葉町鴻草婦人学級

ウ. 他県婦人学級視察報告 1名。

エ. レクリエーション 歌唱 ゲーム

オ. 研究部会の報告

カ. まとめ、展示

(5) 効果

会津若松市教委の協力により、盛会に実施された。県下各地の状況が交歓され、参加者の意欲的な態度もみられ効果的であったと思われる。

8. 婦人学級の状況

年度	計	文部省委嘱	県委託補助	市町村教委	公民館	婦人団体	教委団体共催	婦人有志開設	その他
昭45	579	41	8	79	283	71	82	10	5

9. 婦人教育指導員の設置

(1) 趣旨

婦人教育の重要性にかんがみ、県教育庁教育事務所に婦人教育指導員を置き、婦人教育全般の振興をはかる。

(2) 昭 45年度婦人教育指導員

管内	氏名	住所
県北	白石 マツ	福島市南沢又北川原14-13
"	遠藤 千代	伊達郡霊山町大字石田字大小22
"	鈴木イチノ	安達郡本宮町大字高木30
県中	村上 栄美	郡山市中田町中津川字町42
"	小松 淑子	須賀川市大町 385
"	十文字セイ	石川郡石川町大字南山形字山田 1
"	木幡 久枝	田村郡三春町大字過足字館15
県南	高野 美智	白河市字田町 130
"	金沢 貞	東白川郡矢祭町東館字上野内38
会津	秋山タケヨ	会津若松市一箕町大字鶴賀字船森
"	今泉 英	喜多方市上三宮
"	横山 保子	大沼郡新鶴村大字立石田丙 364
南会津	松田 静子	南会津郡大字福米沢字下川原 617
いわき	菅波ミノル	いわき市平田城跡32の5
相双	鈴木 タイ	双葉郡双葉町新山字広町 3
"	林 テイ	原町市大原字清水86

(3) 効果

婦人学級、家庭教育学級、婦人団体等の学習活動、推進のよき助言者として活用され効果をあげている。

10. 文部省委嘱・県研究婦人学級

(1) 婦人学級の学習機会の拡大と学習内容・方法の充実を期するため研究を委嘱した。

(2) 学級名

① 文部省委嘱婦人学級 (41学級)

ア. 10万円学級(7学級) 謝金 65,000円

庁費 38,800円

図書館あづま婦人学級 芸術文化

白河郷土文化 " "

いわき " "

原町市中央労務 " 職場・職域

イ. 5万円学級(34学級) 謝金 34,000円

庁費 19,400円

桑折町婦人学級 家庭の生活設計

伊達町伏黒婦人学級 市民生活

霊山町中央婦人学級 家庭の生活設計

東和町戸沢婦人学級 市民生活

郡山市多田野婦人学級 家庭の生活設計

郡山市三代婦人学級 "

郡山市安積町荒井若妻婦人学級 "

郡山市太田病院桔梗婦人学級 職場・職域

須賀川市芸術文化婦人学級 "

石川町沢田婦人学級 家庭の生活設計